

蘇南中だより



自己を生かす生徒
助け合い励まし合う
知恵を働かす
たくましくやりぬく
令和5年3月1日発行

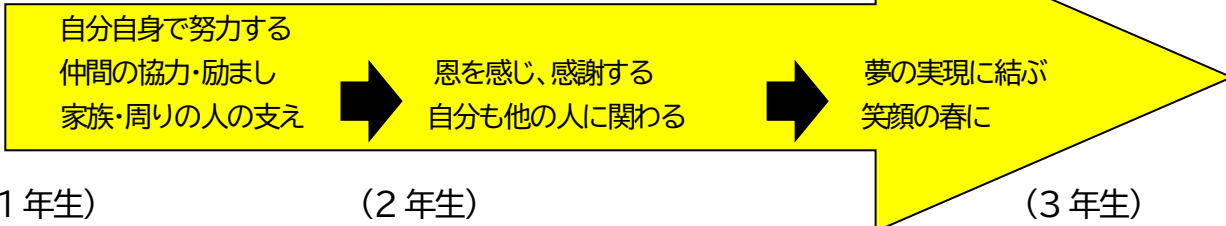
「希望に輝く春がすぐそこに」

校長 今井 竜生

◎3月を迎えました。1年のしめくり、そして新しいスタートに向かうときです。

下の写真は、1月はじめに全学年が取り組んだ「書き初め大会」の作品です。並べてみると、「夢・将来」に向けて取り組むサイクルを表している「いい言葉だな」と感じました。

夢の実現に向けて 感謝する心を忘れず 取り組むことで 希望に輝く春がやってくる



自分をふりかえる

「成長を語る会」

仲間に伝える

○今年度も、1年間のしめくり活動として「成長を語る会」を行っています。学年はじめに「なりたい自分」をイメージしました。それに向かって努力してきたことをふりかえり、自己の成長として語り合う場を学年末に設定しています。2月15、16日には3年生が実施しました。1、2年生も3月中旬に行います。この記録は個々の「キャリアパスポート」にも残していきます。

○蘇南中では、授業でも「自分の学習をふりかえること」を大切にしています。学びには個々それぞれの歩みがあります。「できたこと」や「課題点」をそれぞれが意識することで、自分の自信につなげたり次の学習に活かしたりすることになります。

※「自己を見つめる・ふりかえる」活動は、蘇南中の教育目標「自己を生かす生徒」に繋がっています。



3年生の頑張りをつなげよう 「恩送り」

この1年間、3年生は縦割りの場などでリードしてくれました。これまでに自分が得てきたことを後輩の1、2年生に伝えていきます。引き継いだ後輩が、また次に伝えていくことが「恩送り」となります。

「恩送り」が蘇南中の伝統・文化の継承に

「恩送り : Pay it Forward」

自分が受けた善意を他の誰かに渡すことで善意をその先につないでいくこと。「恩返し」の代わりに善意をおくることから「恩送り」といわれる。